

..... 会 告

2003 年度見学会

「松本盆地、伊那盆地周辺の鮮新世 更新世テフラと堆積物から中部山岳の形成過程をさぐる」

日 時：2004 年 3 月 14 日（日）8 時 地学協会出発
～ 15 日（月）19 時 30 分 新宿駅前解散 1 泊 2 日

コース概要：

- 3 月 14 日 東京地学協会前集合（大型バス）～中央道～松本盆地（池田）、更新世の礫層とテフラ～辰野～伊那～駒ヶ根市 国民宿舎「すずらん荘」泊
3 月 15 日 駒ヶ根～飯田付近の活断層露頭、テフラ、段丘地形見学～中央道～東京

【主な話題】

3 月 14 日

- ・松本盆地における糸魚川静岡構造線の活動と地形。
- ・大峯丘陵で激しく傾動した第四紀初期の砂礫層と北アルプス起源の大規模火砕流堆積物。
- ・本州中部に広く分布する 3 枚のテフラとその給源と噴出年代。
- ・大峯丘陵の平坦化をもたらした巨大地送り。

3 月 15 日

- ・後期第四紀のテフラと河成段丘。
- ・段丘を変位させ、伊那盆地と木曾山脈形成に関与した低角度活断層。
- ・赤石山脈と木曾山脈の隆起史を伊那層と広域テフラから考察する。

案 内 者：町田 洋（東京都立大学名誉教授）、松島信幸・寺平 宏（伊那谷自然友の会）、小泉明裕（飯田美博）、久保純子（早稲田大学助教授）

参 加 費：約 10,000 円

募集人員：約 40 名

参加資格：原則として本協会会員および同伴者 1 名。ただし、会員の紹介がある場合は一般の方も参加できます。

申し込み方法：名前、連絡先（住所、電話番号記載）、所属を明記して、東京地学協会あてに電子メール（tokyogeo@geog.or.jp）または、はがきでお申し込みください。電話による受付はできません。締め切り 2 月 20 日（金）

参加申し込み受付の後、後日詳しいスケジュール、金額等をお知らせいたします。
多数参加下さるようお待ちしております。

地学クラブのお知らせ

・2月20日(金)14:00～15:30

「日本旧石器時代研究の諸問題」

町田 洋(東京都立大学名誉教授)

日本旧石器時代研究を、石器包含層とその年代、環境の研究を通してみつめてきた立場から、捏造の由来と現在抱えている問題およびその展望を述べる。

とくに最近のテフrokロロジーからみると、日本旧石器の確実な初現は約4万年前、酸素同位体ステージ3の後期と考えられる。現在ステージ3の詳しい研究が日本のみならず世界的にも要請されている。

・3月19日(金)14:00～15:30

「東京臨海部における埋め立ての歴史」

遠藤 毅(基礎地盤コンサルタンツ)

・4月20日(火)14:00～15:30

「中近東の石油」

斎藤 隆(ジャパン石油(株):元石油公団)